

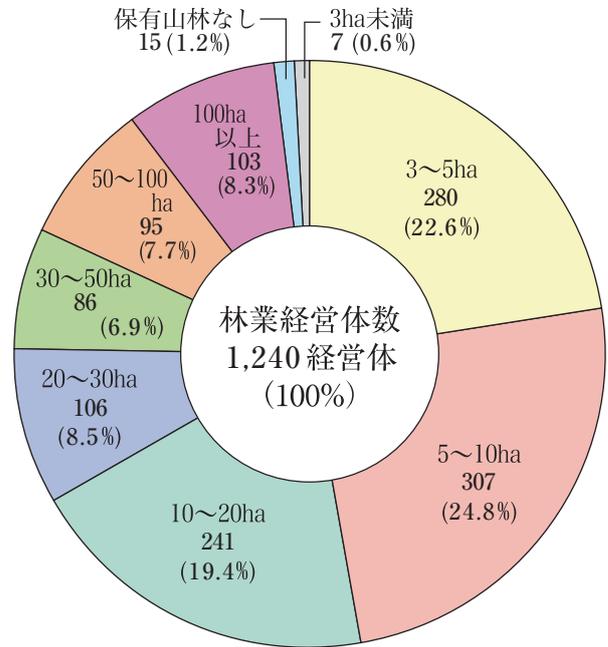
2 林業部門

1) 林業を担う経営体（林業経営体）

本県の林業経営体数は、1,240経営体となっており、保有山林規模別では、10ha以下の経営体が総数の49%を占め、規模の小さな経営体が多い。

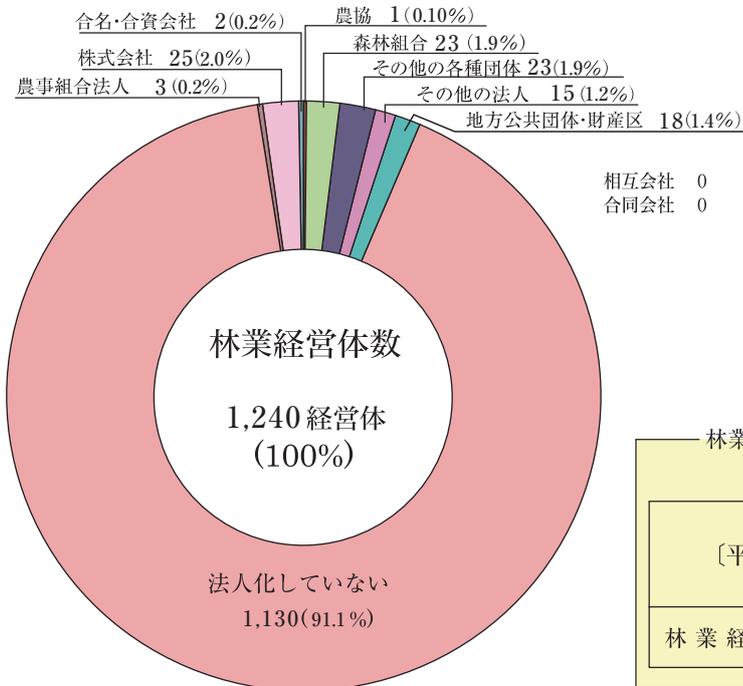
また、組織形態別では、法人化していない経営体が91%を占めている。

保有山林規模別林業経営体数



(2015年農林業サンセス)

組織形態別経営体数



(2015年農林業サンセス等)

林業経営体数

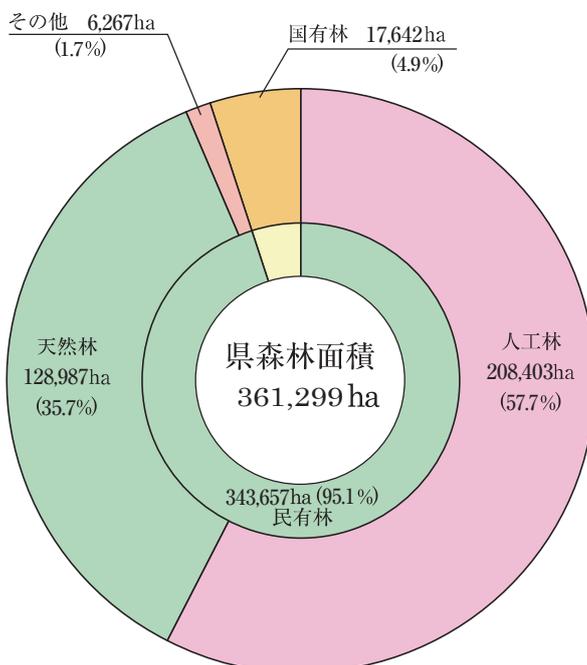
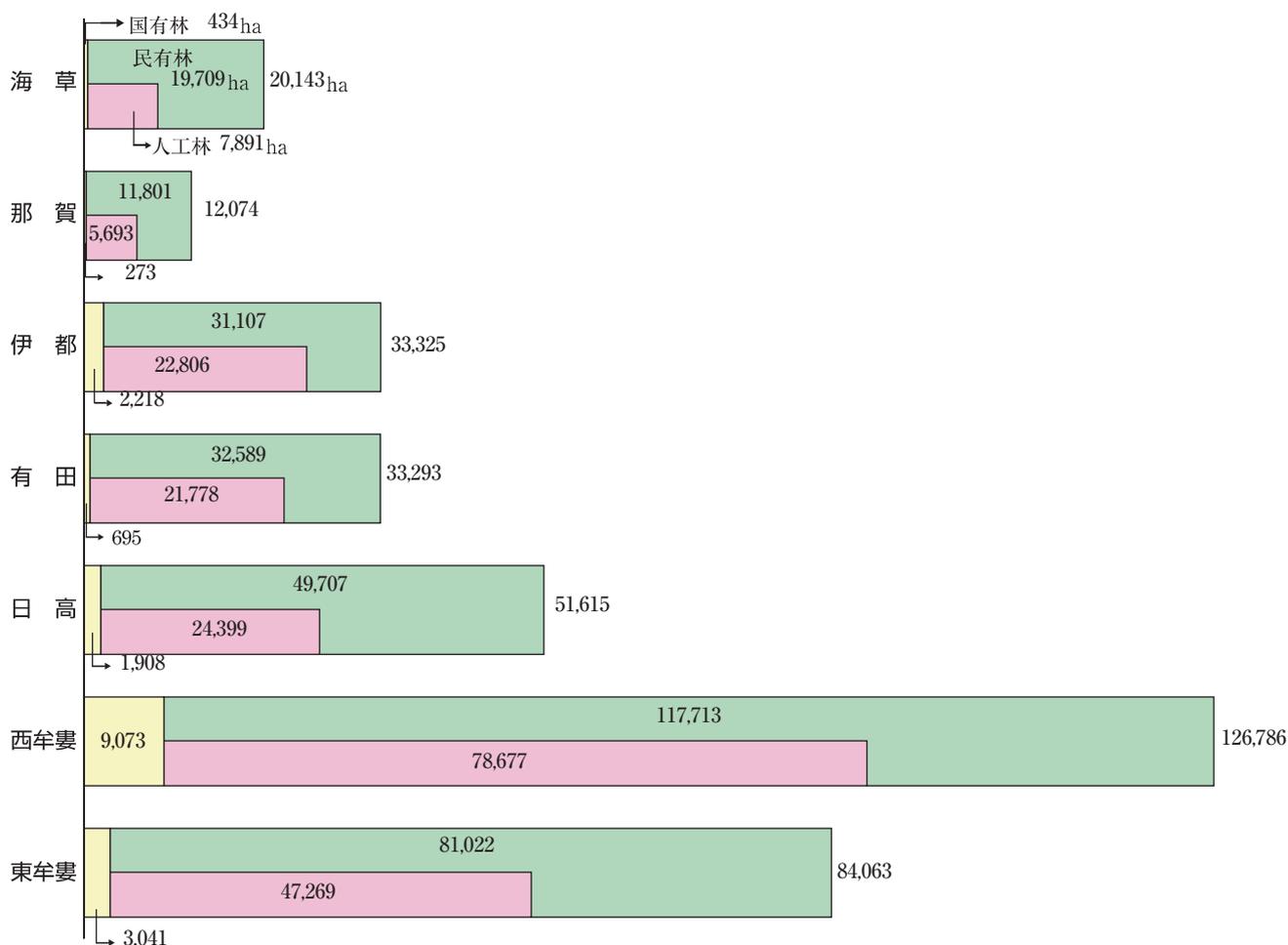
〔平27〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
林業経営体数	87,284	1,240	33	1.4	北海道	岩手	岐阜

(2015年農林業サンセス)

2) 森林資源・林業生産基盤

地域別・森林面積（平31.4.1現在）

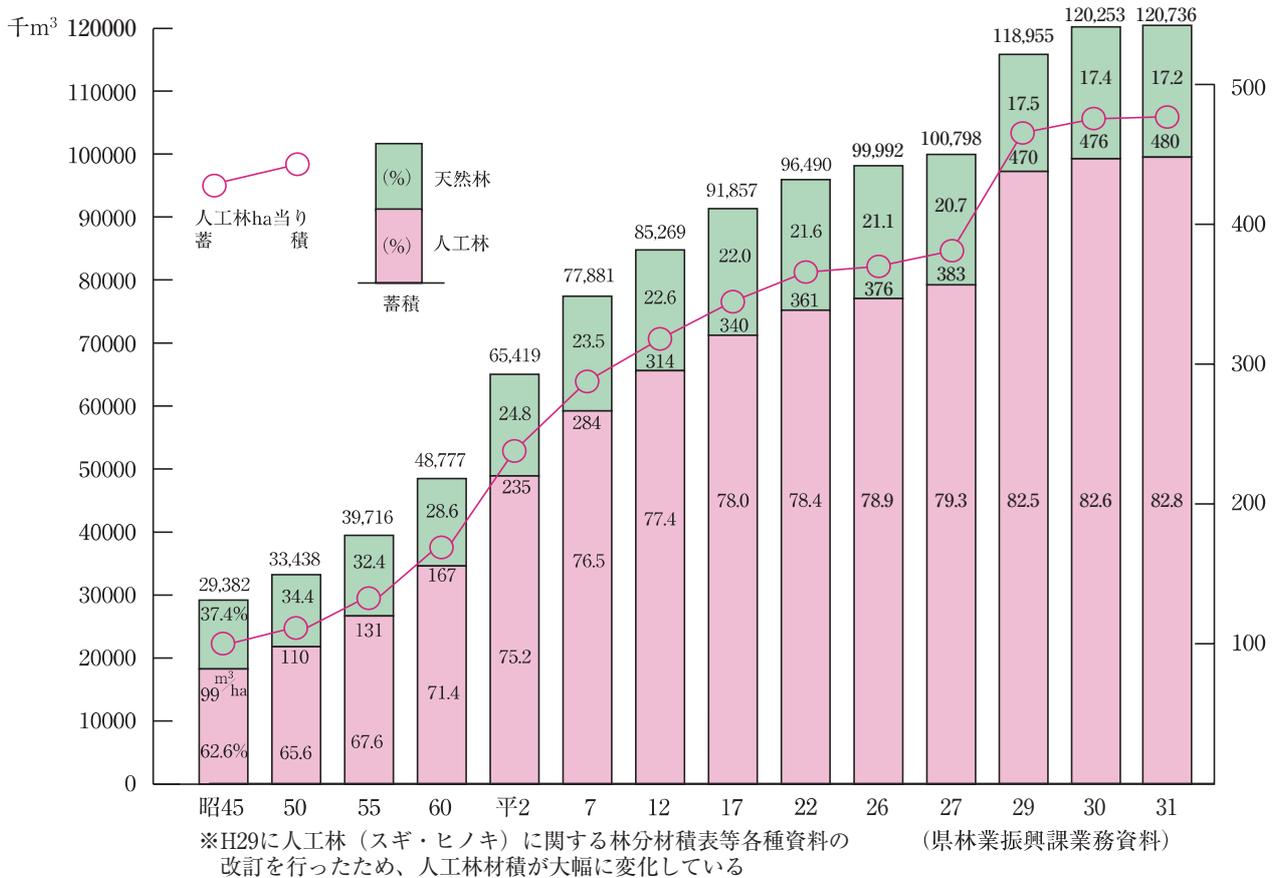
県の森林面積 361,299ha のうち、国有林は 4.9%、民有林は 95.1%です。県の森林面積の 57.7%が人工林です。



(県林業振興課業務資料)

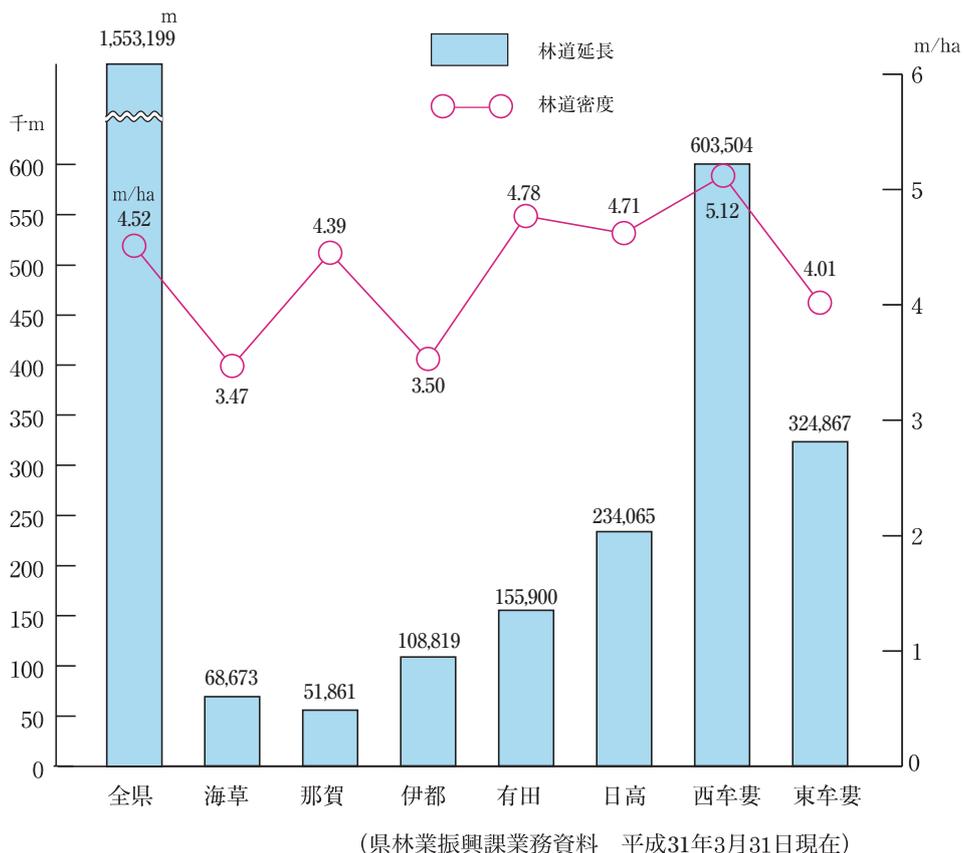
森林資源（私有林蓄積）の推移（地域森林計画対象森林：343,125ha）

戦後植林された森林資源が成熟しつつある。



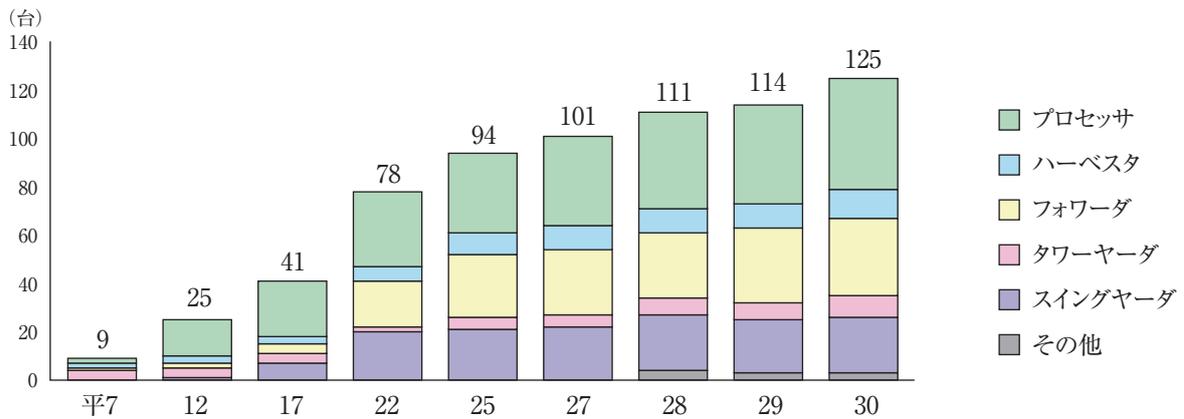
地域別私有林林道延長及び林道密度（平31.3.31現在）

生産コストの縮減をはかるため、林道密度を高める必要がある。



高性能林業機械保有台数 (平 31.3.31 現在)

生産コスト林業を推進するため、高性能林業機械の導入が必要である。



単位：台

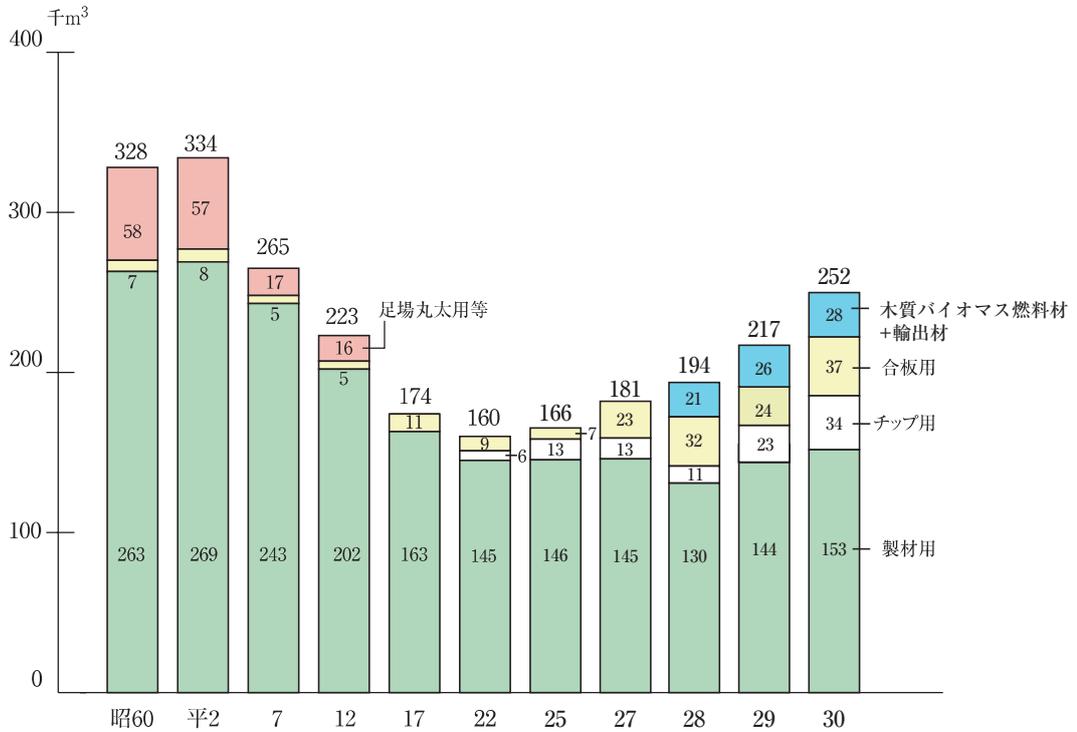
機械種名	平 7	12	17	22	25	27	28	29	30
プロセッサ	2	15	23	31	33	37	40	41	46
ハーベスタ	2	3	3	6	9	10	10	10	12
フォワーダ	1	2	4	19	26	27	27	31	32
タワーヤーダ	4	4	4	2	5	5	7	7	9
スイングヤーダ		1	7	20	21	22	23	22	23
その他							4	3	3
計	9	25	41	78	94	101	111	114	125

(県林業振興課業務資料)

3) 林業生産

近年の木材生産活動は木材価格の低迷等から停滞している。
一方、最近では輸入製品価格の高騰などから、国産材の需要が高まりつつある。

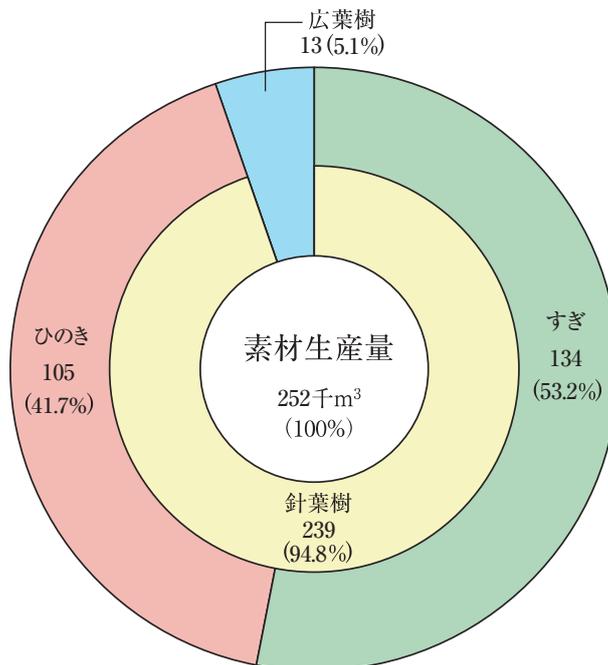
用途別素材生産量の推移



※H28から木質バイオマス燃料材+輸出材を集計に追加しました。

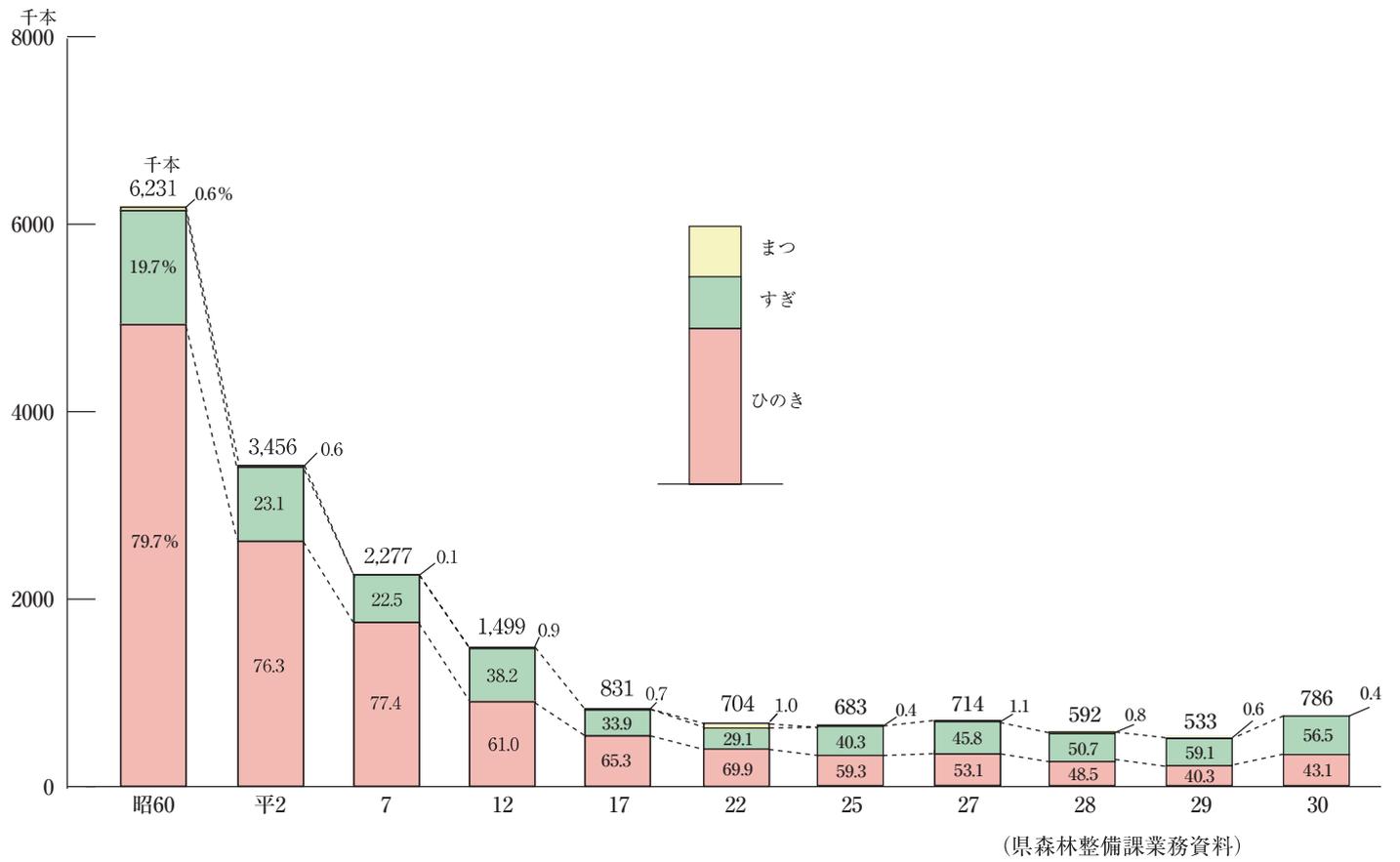
(木材需給報告書、木質バイオマスエネルギー利用動向調査、県林業振興課業務資料)

樹種別素材生産量 (平30)

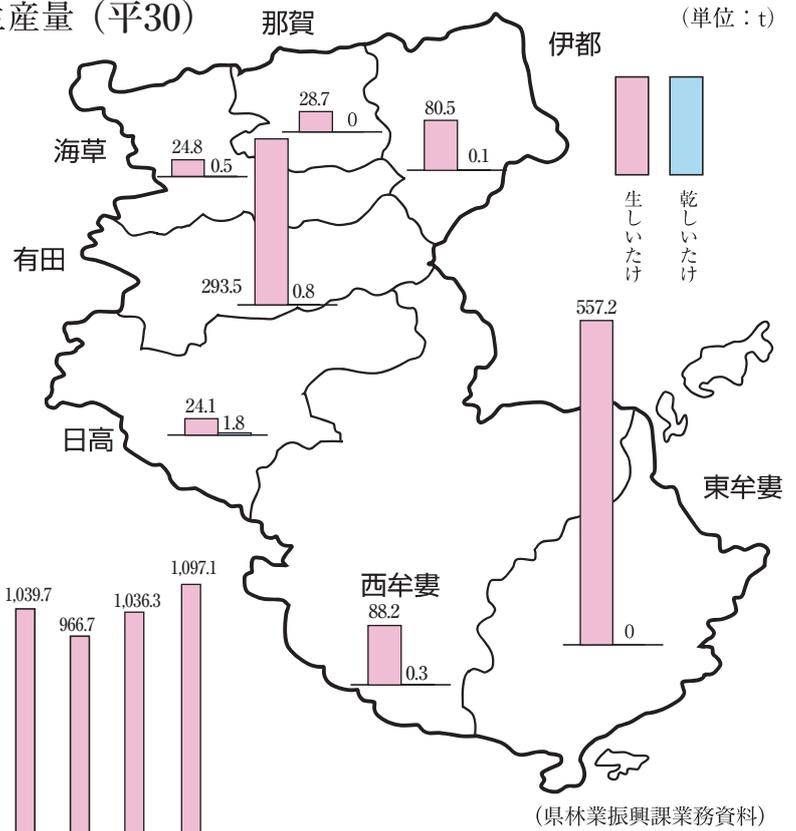


(県林業振興課業務資料)

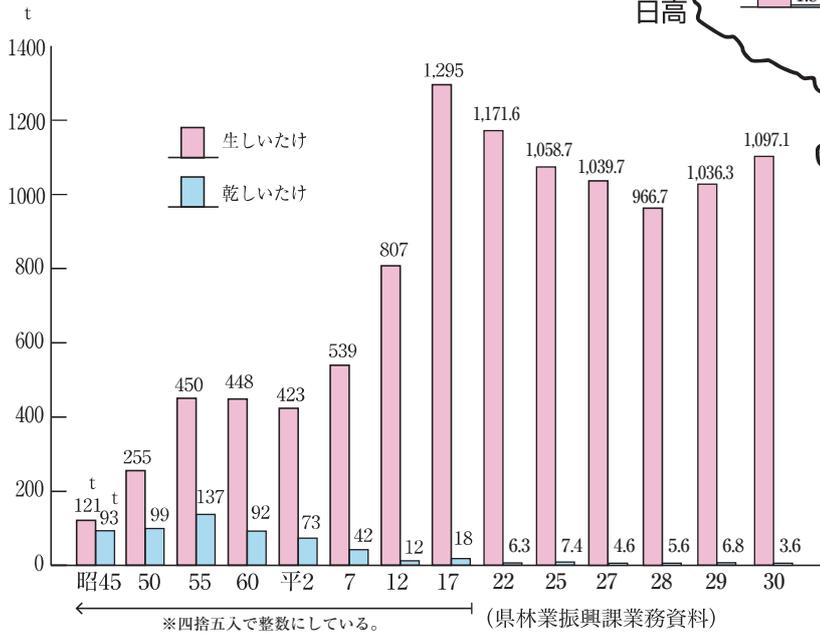
山用種苗生産本数の推移



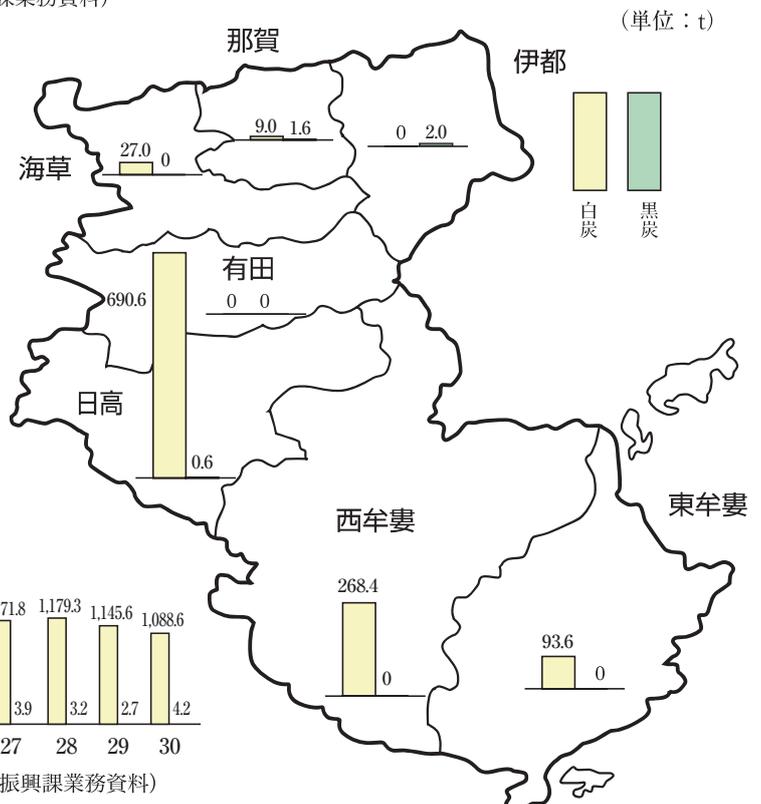
地域別・しいたけ生産量（平30）



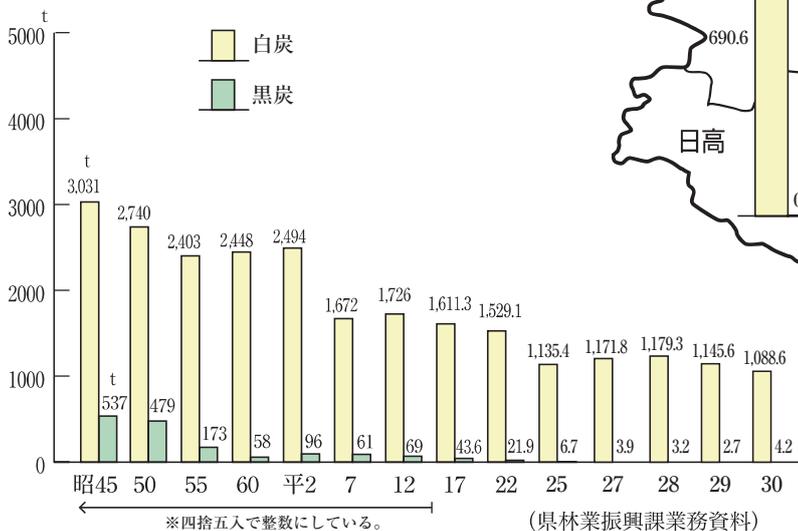
しいたけ生産量の推移



地域別・木炭生産量（平30）

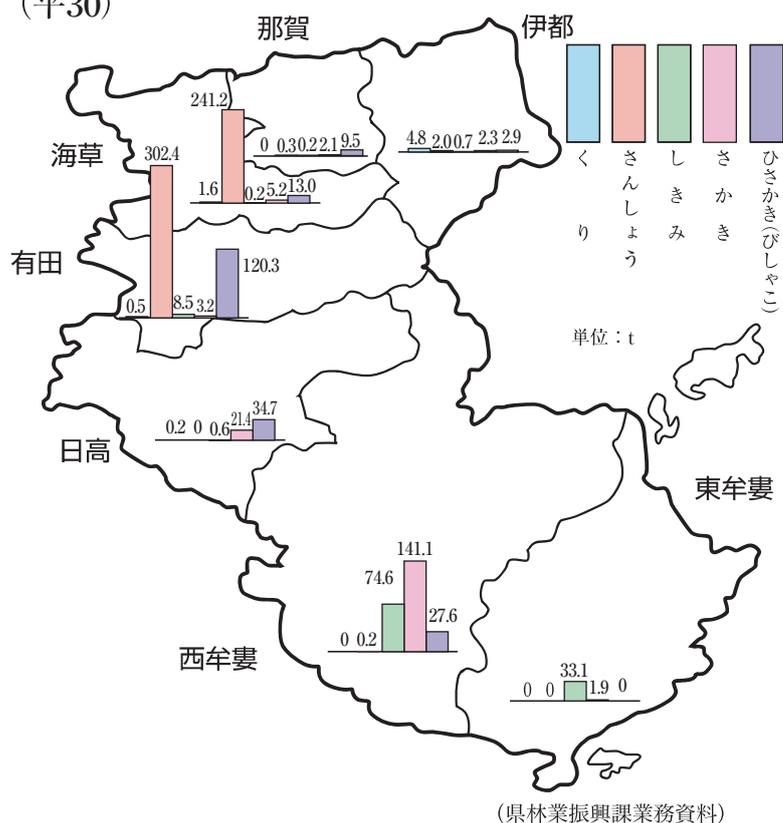


木炭生産量の推移

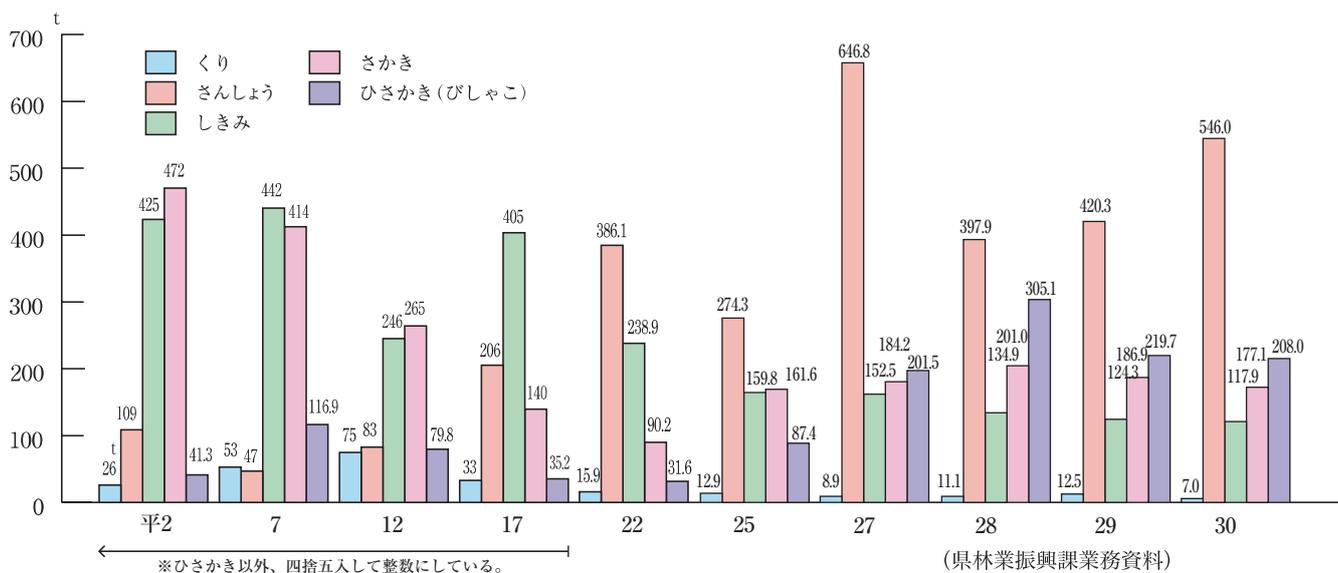


山村での主収入であった林業が低迷する中、副収入源であった特用林産物の収入に占める割合が増加してきた。

地域別・その他特用林産物生産量（平30）



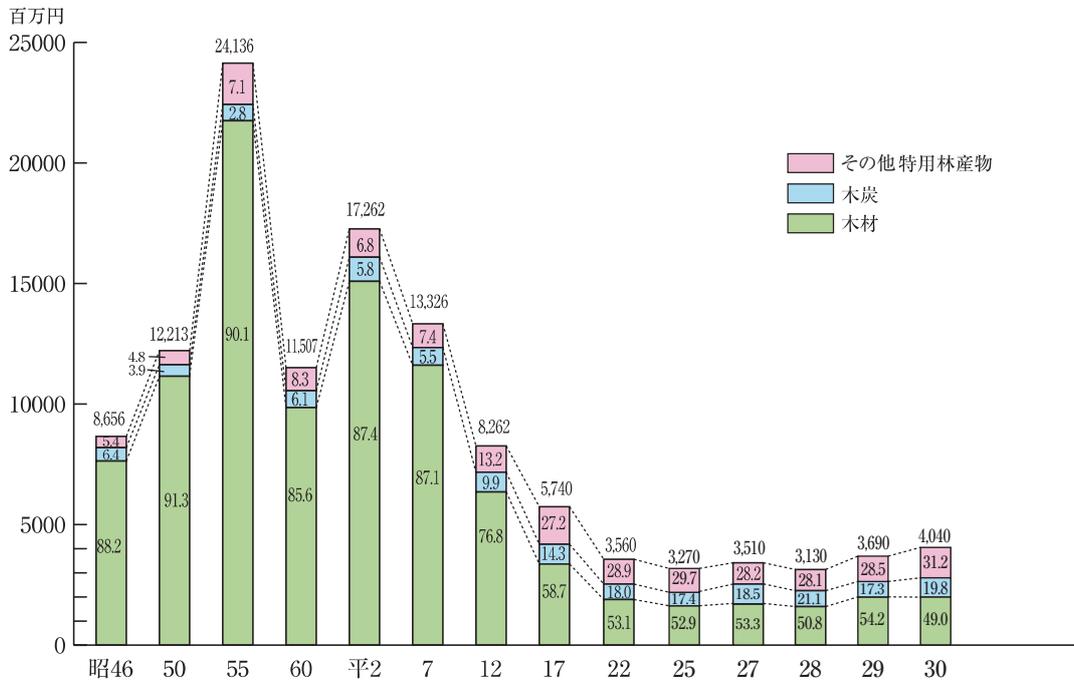
その他の特用林産物生産量の推移



4) 林業産出額

素材価格がピークであった昭和55年を契機に年々減少してきている。平成30年は前年と比較して、3億5千万円増加している。

林業産出額の推移



(林業産出額)

※枠内の数字はパーセントを表す

生産額

〔平30〕 (千万円)		全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位	
		実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
林 業 産 出 額	総 計	46,344	404	29	0.9	長 野	新 潟	北 海 道
	木 材 生 産	22,787	198	31	0.9	北 海 道	宮 崎	岩 手
	特 用 林 産 物	23,557	206	24	0.9	長 野	新 潟	福 岡

(H30林業産出額)